

こんにちは!

# 村立東海病院です



## 知られざる?! 手術室・中央材料室の業務

当院は80床の病院ですが、手術室・中央材料室を持ち、専任のスタッフを配置しています。看護師5人と助手2人が、年間400件近い手術の対応と、医療材料の管理業務、使用する物品の洗浄や消毒をする滅菌業務を行っています。

一般の方からは目に届かない部署ですが、院内で使用する物品を確実・安全に供給するという、大変重要な役割を果たしています。

### 【手術室で働く看護師の業務】

手術室看護師の役割は、手術を受ける患者さんの心理状態を理解し、多様な術式に対応しながら、安全・安楽な看護をすることです。手術室業務には、医師が指示する器械や器材を正確に手渡しする「器械出し」と、それ以外の業務を行う「外回り」などがあり、役割を分担して行っています。

#### ●器械出し看護師は何をするの？

器械出し看護師は、医師の手術状況を見ながら、迅速にテンポよく、的確に器材を手渡すことが求められています。そのため、医療の進歩に伴う新しい手技や器械類の操作習得はもちろん、基本をしっかり守りながら、医師や患者さんの身になって看護を行っています。

#### ●外回り看護師の役割って？

外回り看護師は、手術を受ける患者さんの不安や緊張を少しでも軽減できるように、術前訪問(手術看護師が直接病棟に出向き患者さんと話をすること)を行い、手術時は、患者さんの一番近くに寄り添い、声を掛けたり手を握ったりする援助を行っています。手術後には患者さんを訪問し、様子を伺いながら、今後の手術室看護に生かせるよう心掛けています。帽子とマスクで顔がほとんど見えませんが、スタッフ一同笑顔で患者さんに対応し、手術室の雰囲気明るくなるように努めています。

### 【中央材料室での業務】

中央材料室には、滅菌装置や洗浄装置があります。病院内の手術や検査、その他のいろいろな処置に使用した医療器材の洗浄から滅菌(全ての微生物から生命力を奪うこと)に至る業務を助手が一括して行い、院内の感染防止の役割を担っています。

患者さんに安全な医療材料を提供できるよう、ガイドラインにのっとった業務の遂行に努めています。



最近では、テレビなどでも器械出しの看護師が登場することもあって、一見華やかな現場のように思われるかもしれませんが、看護師の仕事は医師やその他の専門職とチームを組み、患者さんをサポートすることであり、独特の緊張感や厳しさがあります。プレッシャーに押しつぶされそうになることもあります。頑張っって手術を乗り越えた患者さんが元気になった姿を見るたびに、やりがいを実感します。

普段、皆さんの前に顔を出す機会は少ないですが、滅菌器具・医療材料の質の保証に責任感を持ち、患者さんが安心して医療サービスを受けられるよう、医療や看護を側面から支えています。

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉保険課地域医療担当(☎287-0899)